

全労連社会保障闘争本部ニュース No.112 2020年6月11日

## 介護・ヘルパーネット NEWS ⑨

全国労働組合総連合 〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4階 TEL.03-5842-5611

### “介護をよくするアクション月間”実施中！



デイ8割が減収 国へ補填求める  
介護現場に「マスク」「PCR」「手当て」を

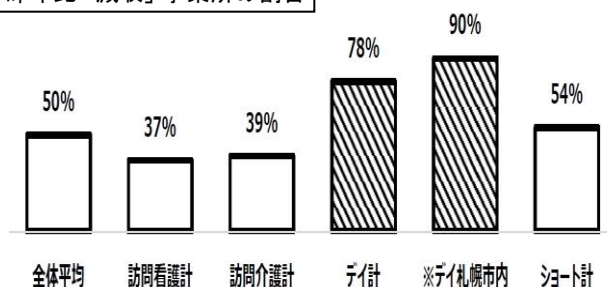
### 新型コロナ感染対策緊急アンケート結果を記者会見

### 介護に笑顔を！道連絡会

介護に笑顔を！道連絡会は6月10日、「道内介護事業所の新型コロナ感染対策についての緊急アンケート調査結果」を発表する記者会見を労働センターで行いました。全国的に介護関連の大規模調査はされておらず、TV局4社（NHK、HBC、STV、TVH）、新聞社4社（しんぶん赤旗、道新、毎日、朝日）、合計8社のマスコミが取材に訪れ注目を集めました。

当会の共同代表・栗原氏（福社会専務）から「介護崩壊を起こしてはならない。明らかにした実態をもとに政府や自治体に支援を要請していく」と会見を先立って挨拶しました。続いて、調査を指揮した室岡氏（道勤医労副委員長）より結果概要について説明。特に「調査事業所の5割で減収、中でもデイは8割が減収しており、国へ補填を求めたい」と訴えた。さらに、要求したいことの上位は、「マスク等支給」「PCR検査拡充」「手当創設求める」だったと説明しました。

昨年比「減収」事業所の割合

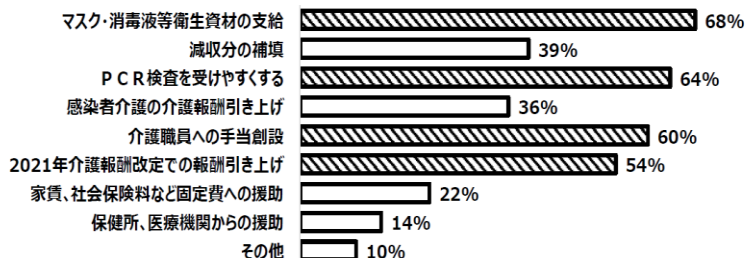


## 訪問看護、訪問介護、デイ、ショート 1248 件から回答

本アンケートは、影響が大きいと予測される4事業（訪問看護、訪問介護、デイサービス・デイケア、ショートステイ）の道内事業所3406軒に郵送し、FAXでの回答を求めました。1246件から回答がありました（回収率36.6%）。

結果は、デイサービス・デイケアの約8割が「減収」となり、マスク消毒液は約4割で「不足」していることがわかりました。また、国・自治体に求めるものは衛生資材支給の他、「PCR検査を受けやすくする」「手当創設」「21年度改定の報酬引上げ」との結果となりました。

### 自治体に求めるもの（複数回答）



結果を踏まえ、道連絡会は介護崩壊を防ぐため、減収分の補填等4項目（下記）について団体署名アクションを展開し、政府・北海道・札幌市へ緊急要請する予定です。

### 政府宛団体署名 要請項目

- 一、 介護事業所に必要なマスクや消毒液、ガウン等の衛生・防護用品の確保・供給を国の責任で行うこと
- 二、 介護事業所が倒産・廃業に至らないよう、介護事業所への財政支援を講じること。少なくとも、前年の実績にもとづき介護報酬の概算払いを行うこと
- 三、 希望する介護従事者がPCR検査を受けられる体制を整備すること
- 四、 人材を確保するため、介護従事者への手当を創設すること

## 北海道勤医労在宅支部「コロナに負けない」



### <お知らせ>

6月も引き続き介護をよくするアクション月間とします。宣伝の写真など送ってください。介護現場の要求を #介護現場からのSOS でアピールしましょう。